



第15回学術大会を終えて

大会長 久村 正也

全国の会員の皆様、こんにちは。北海道は晩秋の時節を迎え、暖房の必要な日々となりました。

初秋の思い出となった第15回学術大会は、9月11日～13日、札幌市において開催され、1,300名に迫るご参加をいただき成功裏に終わることが出来ました。感謝の気持ちを添えて大会報告をさせていただきます。

9月11日：講習会は20講座を用意させていただきました。おりしも、北関東、南東北地方を襲った豪雨で往路予定の乱れた方々もおられました。受講者は1,000名を数え充実したものになりました。おなじみのナイトレクチャーも好評を博しました。講義と並行して理事会、評議員会がもたれました。

9月12日：学術大会初日。本州方面の台風余波を受けて幾分曇り具合の札幌でしたが、会場は熱気を帯びた学術の場となりました。

開会コンサートに引き続き開催された市民講座をかねた日野原重明理事長の基調講演「音楽療法士の感性はどのようにして育まれるか～私の経験を通して～」は、500名を超える市民が参加されるなか、ご自身の音楽歴を通して音楽療法士の感性を考える感銘深いお話でした。「21世紀における音楽療法と専門家としてのアイデンティティを考える」(ヘレン・オーデル・ミラー教授)、「専門職における専門性と一般性」(久保千春九州大学総長)「ケアスタッフと創る音楽コミュニティ」(スチュアート・ウッド博士)のご講演は、深い知識、広い経験そして高い理念に裏打ちされた啓蒙的な内容でした。今大会では、2017年本邦で開催予定の世界音楽大会を視野にいれた英語発表セッションが設けられ、演者の巧みなプレゼンは世界大会参加の動機付けになったことと思われました。口演発表、ポスター発表、自主シンポジウム、いずれも活発な討論がなされました。昼食の間を利用して支部連絡会が開かれました。

お楽しみの交流会は場所を変えて、極めつけの道産子料理“ジンギスカン鍋”を堪能しながら、ぬくもりとくつろぎと歓談の中に時を忘れるひと時を持ちました。

9月13日：大会2日目。大会長講演「学会誌原著論文からみた本邦の音楽療法の動向」は原著論文61編の分析を通して過去を振り返り、今後の期待を述べたものでした。対象疾患

の拡大、プライマリケア音楽療法士と専門音楽療法士、ガイドライン作成、公的資格の取得など今後の課題が提示されました。シンポジウム「音楽療法士に必要な専門性の確立と一般性を考える」は日・独・英3カ国のシンポジストが揃い、さながら国際シンポジウムの雰囲気がありました。司会者のご苦勞を多とします。疲れた頭をコンサートでほぐしてから開催された総会では、再来年の世界大会、地域コンサート、公的資格問題などが報告されると共に、昨年度の決算・監査報告が承認され、来年度事業計画案・同予算案が可決されました。午後3時30分、すべての予定が滞りなく消化され、来年9月の東北大会(仙台市)での再会を約束して札幌大会は終了いたしました。

基調講演1、特別講演2、教育講演1、大会長講演1、シンポジウム1、自主シンポジウム10、一般演題130余からなる充実した学術大会でありました。

今大会を鳥瞰するに、総じて演題の質の向上、発表技法の精練化などが印象的でした。

一方、大会テーマの趣旨の誤認が散見されたことは残念でもありました。

札幌大会は実に多くの方々の善意のお力添えで完遂することが出来ました。大会実行委員、道支部会員、学生諸氏、ボランティアをはじめ、全国の会員の皆様、広告掲載各施設、企画担当各社、そして本部事務局、その他有形無形の暖かいご支援、ご協力に感謝し、心からお礼申し上げて大会報告といたします。



教育講演

第16回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

大会長 高山 仁

第16回日本音楽療法学会学術大会を下記テーマにて開催の運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

「今、ここで」音楽療法における関係性を考えよう～カラダ・ココロ、他者と「わたし」を見つめて～

東日本大震災後、再び皆様を東北の地にお招きできますことは、支部会員にとりまして大きな喜びと共に感慨深いことでもあります。これまでの学会員の皆様方からの暖かいご支援・励ましに対しまして、心から感謝申し上げます。

大会開催にあたりテーマの設定には大変苦慮いたしました。「今、ここで（東北で）」感じ・考えることに意義を見出しながら、「音楽療法における関係性を考えよう」、また「わたし」の中核に注目し「カラダ・ココロ、そして他者を見つめて」といたしました。私たちは大震災を経験し、改めて「人の生と死、繋がること、音楽すること」などについて深く考えさせられました。今回はこれらの難問について、皆様と共に広く見つけ直してみたいと思います。

大会は、日野原重明先生による理事長講演と「こころ」をテーマにしたミニコンサートとの融合的な企画を進めております。また「基調講演」は、哲学者で東京大学・死生学応用倫理センター教授の清水哲郎先生にお願いし、マクロな視点からテーマへの思考を深めたいと思います。「教育講演」は、学習院大学文学部教授・民俗学者の赤坂憲雄先生に、神事・無礼講で構成される日本の「祭」の意義と精神性、さらに「子守り唄の誕生」などについてご講演をいただきます。特に「祭」は震災後の心の支えになったこともあり、2017年世界大会を前に「日本人と謡・唄（音楽）」について学びたいと思います。そして、世界音楽療法連盟 Amy Clements-Cortes 会長の特別講演も計画しております。ご期待ください。

今大会の特徴として、講習会と大会を統一テーマの下に開催し、3日間を通して様々な視点から「音楽療法における関係性」について考えます。講習会1日目、1・2講では「カラダ・ココロ」をテーマに近接領域の先生方に、それぞれご専門の立場からご講義をいただきます。続く3・4講は、2コマ通しでの受講となりますが、音楽療法士8名の先生方に、大会テーマを意識しながら、理論的背景から実践・評価まで、180分間存分にお話していただきます。

また、学術大会の根幹をなす「研究発表」は、これまでの口頭発表・ポスター発表に加え、英語発表と課題研究発表を設定します。課題研究のテーマは「音楽療法における関係性」となりますが、今回は人と人との関係性に留まらず、自分のカラダと自己の関係性、カラダとココロ、または音楽やモノ（楽器など）との関係性なども含め、広義的に捉えたいと考えております。尚、詳細は第二次案内をご参照ください。

最後に震災関連企画のご案内をさせていただきます。3・11がまだ現実の問題として続いている中、「災害時の音楽療法について」などの具体的なテーマに関しては、少なくとも10年以上のスパンで扱うことが適当だろうとの結論に達しました。そこで、今大会では1日目講習会後に自由参加として、郡山にて行政と協働で子ども達のために「屋内大規模遊戯施設」を設立した菊池信太郎医師、震災直後から宮城県内の支援イベントで使用された音楽について3年間調査をされた小塩さとみ教授、石巻において震災直後の救援活動に奔走した菅野武医師、そして、生死の問題に直接関わられた臨床宗教師の金田諦應住職、以上4人の方々にご講演をお願いいたしました。貴重なお話しが伺えることと思います。

年1度の大会は、会員の皆様にとって観光を兼ねた出会いの場でもあるでしょう。芭蕉にならひ、みちのくを巡りながら人々と出会い美味しいものも食し、カラダもココロも喜ぶ3日間に是非ご参加くださいますよう、心からお待ちしております。

- 開催日程 : 2016年9月16日（金）：講習会 17日（土）・18日（日）：学術大会
- 会場 : 仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）

■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 高山 仁

3年間のテーマ「音楽療法の理論と実践を繋ぐ専門性」に基づいた講習会も最終年度となりました。ねらいは、音楽療法士自身が理論的背景をもって実践し、「理論と実践を繋ぐこと」ができること、また音楽療法の治療構造や現場で起こっていることを言語化できること、そして最終的には音楽療法士の質の向上です。

これまで「感覚統合」「高齢者また子どもの心理」「認知リハビリテーション」「理論を踏まえた実践」「ビデオによる観察・記録」「こころの響き合い」「臨床即興の手法」などについて講師の方々にご講義をいただきました。

そして今年度、1日目は音楽療法の実践と研究を重ねておられる城森泉氏と米倉裕子氏に、ご自身の経験を具体的に語っていただくことを通して、受講者一人ひとりにテーマについて深める機会を提供したいと考えております。また、2日目午前中は「神経リハビリテーション学」がご専門の森岡周氏に「神経生物学入門」についての講義、午後は「医療福祉、ソーシャルワーク・スーパービジョン」がご専門の福山和女氏に、豊富な実践の背景となる理論と事例検討を含む講義をお願いいたしました。そして、プログラムの最後に、企画当事者として当委員会の脇田和子委員が3年間のテーマについて「まとめと展望」を行います。

今、日本の音楽療法は決して前途洋々という状況ではありません。しかし、その素晴らしさや必要性を確信している者として、音楽療法の基盤をつくる講習会にしていこうと考えております。是非、多くの会員の方々の参加を心よりお待ちしております。

2016年2月20日（土） テーマ：実践と研究を繋ぐ

受付12：00～	第一会場（8階第一会議室）	第二会場（8階第二会議室）
12：40～12：50	開会 ガイダンス 委員会挨拶	開会 ガイダンス 副委員会挨拶
12：50～14：30	講義A「音楽療法の実践と研究 —科学的根拠と実践による効果の架け橋—」 城森 泉 名古屋大学大学院医学系研究科リハビリ テーション療法学専攻 客員研究者	講義B「終末期と音楽療法 —緩和ケアにおける音楽療法の再考—」 米倉 裕子 くらしき作陽大学、矢津クリニックひと息の村
14：30～14：50	休憩	
14：50～16：30	講義B「終末期と音楽療法 —緩和ケアにおける音楽療法の再考—」 米倉 裕子 くらしき作陽大学 矢津クリニックひと息の村	講義A「音楽療法の実践と研究 —科学的根拠と実践による効果の架け橋—」 城森 泉 名古屋大学大学院医学系研究科リハビリ テーション療法学専攻 客員研究者
16：30	一日目終了	

2016年2月21日（日） テーマ：理論と実践を繋ぐ

受付8：30～	3階 一ツ橋ホール
9：05～10：25	講義「神経生物学入門：人間の脳と社会的コミュニケーション」 森岡 周 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター センター長・教授
10：25～10：40	休憩
10：40～12：00	講義「神経生物学入門：人間が産み出した社会的ツール：音楽」 森岡 周
12：00～13：00	昼食
13：00～15：00	講義「理論と実践を繋ぐ、事例から学ぶ人の尊厳」 福山和女 ルーテル学院大学 総合人間学部 社会福祉学科 教授
15：00～15：15	休憩
15：15～15：55	まとめと展望 脇田和子 講習会委員
15：55～16：00	閉会 ～ 終了

*お申し込み方法等詳細のご案内は、12月頃の発送を予定しております。

*会場は、例年通り東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館です。なお、講師の都合により変更が生じることがありますことを、ご了承ください。

*今年度もご要望にお応えして「土・日曜：各一日参加」を設定いたします。是非、ご参加ください。

■ 2015年度資格審査（面接試験）について ■

●2015年度資格審査（面接試験）を申請できるのは次の方です。

1. 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格（合格年度に関わらず）を有する方
2. 日本国外の音楽療法士の認定資格を有する方
3. 日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を失効し、再度同資格の取得を希望する方

●2015年度資格審査（面接試験）申請受付期間

2016年1月29日（金）～2月12日（金）まで事務局必着

●申請方法

認定規則「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せ、それに沿って申請する。

※認定規則（面接試験）取り寄せ方法

500円の定額為替（郵便局で購入）を同封の上、「認定規則（面接試験）請求」として事務局へ申し込む。（会員のみ配布対象）

●書類審査結果

2016年2月下旬通知 *書類審査合格者には面接試験の案内を同封します。

●試験日

2016年3月12日（土）、13日（日）

*やむを得ない事情により希望日がある方は申請時に書面（書式自由）を同封して申し出てください。

*面接試験日時の通知後の変更は出来ませんのでご承知おきください。

●試験会場

東邦音楽大学 川越キャンパス 埼玉県川越市今泉84

●試験内容

口頭試問と実技（計15分間） *実技試験に関する詳細は下記をご確認ください。

●試験結果

2016年3月末日通知

《実技試験について》

1. 面接実技試験弾き歌いのための課題曲は、下記A群（テンポの速い曲群）、B群（ゆっくり目の曲群）の各5曲とする。

A群（テンポの速い曲群）

- ① 世界に一つだけの花……………榎原敬之 詞・曲
- ② 崖の上のポニョ……………近藤勝也・宮崎駿 詞、久石譲 曲
- ③ 南国土佐を後にして……………武政英策 詞・曲
- ④ 上を向いて歩こう……………永六輔 詞、中村八大 曲
- ⑤ 高原列車は行く……………丘灯至夫 詞、古関裕而 曲

B群（テンポがゆっくり目の曲群）

- ① あのすばらしい愛をもう一度…北山修 詞、加藤和彦 曲
- ② 川の流れるように……………秋元康 詞、見岳章 曲
- ③ 湯の町エレジー……………野村俊夫 詞、古賀政男 曲
- ④ 涙そうそう……………森山良子 詞、BEGIN 曲
- ⑤ 君をのせて……………宮崎駿 詞、久石譲 曲

2. 実施方法

上記A B各群から2曲ずつ選択し（計4曲）、資格審査（面接試験）申請時に明記する。

申請した曲の中から、当日指定された1曲の弾き歌いを行う。

*弾き歌いで楽譜を見ることは可とするが、それはコードネームが記載されている楽譜までとして、伴奏全部が記載されている楽譜の持ち込みは不可とする。

3. 使用楽器

会場に設置してあるグランドピアノ、または受験者が持参したギターに限定する。

*ギター用の譜面台の用意はない。

※お知らせ※

認定規則（面接規則書）中「申請書類のまとめ方」の「2.」について、今年度より返却用封筒への切手貼付は必要ありません。宛先のみ明記してください。

第15回世界音楽療法大会 実行委員会より

副実行委員長 今村ゆかり

第15回世界音楽療法大会実行委員会では、2017年の大会開催に向けて着々と準備を進めております。大会テーマ「Moving Forward with Music therapy - Inspiring the Next Generation - 音楽療法で未来をひらく - 次世代と共に -」を掲げ、多くの音楽療法士、研究者、学生、医療・福祉・教育分野の音楽療法に関心を持つ皆さんと共に、音楽療法のこれまで、現在、これからについて、活発な意見交換・情報交換ができる大会の開催を目指しています。大会の日程は、下記〈大会プログラム〉をご覧ください。

世界大会には多くの特色がありますが、その一つは発表のほとんどが公募されるということです。発表の形態も口演発表、ポスター発表に加え、シンポジウム、ラウンドテーブル、ワークショップなどがあり、複数の応募も可能です。2014年の第14回世界大会では、400本近い発表がありました。応募には英文の抄録が必要になりますが、希望されれば日本語での発表も可能です。

大会毎に企画されるスポットライト・セッションが連日行われるのも、特色の一つと断言していいでしょう。スポットライト・セッションとは、世界音楽連盟（WFMT）と実行委員会とが共同で企画したテーマについて、数名の演者がリレー形式で講演するセッションです。第15回大会では、「音楽療法と高齢者のウェルビーイング」「音楽療法と災害」「音楽療法のリサーチ」「文化的文脈におけるセラピーと音楽」がテーマになっています。これらのテーマと関わる臨床実践や研究での応募もご検討ください。

演題募集は、2016年1月から始まります。募集開始に先立ち、それぞれの発表形態の詳しい説明や英語での応募の仕方、抄録作成のコツなどをまとめた冊子「演題発表に向けて（仮）」を、年内に発送する予定です。どうぞ楽しみにしてお待ちください。

学術大会での世界大会関連企画について、お知らせいたします。第15回学術大会（札幌）（9月12日）では特別企画「英語による口演発表について」が行われました。加藤美知子大会長の発表についての説明の後、2014年の世界大会で発表された二俣泉氏と吉田豊氏が発表を再現し、また実際に発表を行うまでのプロセスやポイントについてご自身の体験を紹介してくださいました。この内容は冊子にも掲載予定です。2016年の第16回学術大会（仙台）では、英語での発表も募集されます。また、Amy Clements-Cortes WFMT 会長が講演され、世界大会の魅力についても語ってくださいます。

学会員の皆様には、準備の進行状況を随時お知らせいたしますが、最新の情報は世界大会のホームページに掲載されます。是非一度、<http://www.wcmt2017.com> を覗いてみてください。

〈大会プログラム〉

2017年		7月4日（火）	7月5日（水）	7月6日（木）	7月7日（金）	7月8日（土）
午前		スポットライトセッション：各日2時間 複数演者によるリレー講演 日本語同時通訳				
		発表枠				
昼食		日本文化体験プログラム（企画中）・集合写真撮影				
午後	プレセミナー	開会式				閉会式
		発表枠		発表枠		見学/観光

音楽療法推進特別委員会からのご報告

音楽療法推進特別委員会

委員長 藤本 禮子

音楽療法推進特別委員会の設立およびその活動につきましては、学会ニュース28号、29号で報告してまいりました。当委員会の活動の一つに、関東・近畿・中国支部で2年間試行されるラーニングサポートセンター事業（以下LSC）があります。今回は、それぞれの支部での活動内容、進行状況について報告いたします。

関東支部では、音楽療法実践経験の浅い会員を対象として、音楽療法士の仲間づくりなどを通してより良い音楽療法を実践できる力をつけることを目的として行っています。第1回は2014年12月に群馬県で開催しました。参加者20名が10名ずつに分かれ、「児童領域のワークショップ」と「ピアスーパービジョン（受講生が事前に提出したミニレポート（悩み・質問）をファシリテーター、サポーターを含め参加者全員で共有する活動）」を2部屋同時進行で行いました。第2回からは会場を東京都内に移し、5月に第2回、8月に第3回を行いました。内容は第1回と同じですが、参加者を40名とし、10名ずつが4部屋に分かれて行いました。昼食後の茶話会では、地区別に設けられたテーブルで親しく話し合い、連絡先の交換などが行われていました。今後、第4回、第5回をそれぞれ12月、2月に予定しています。

この事業は本部からの委託事業であるため、本部から経費として1回30万円が支給されます。第1回目は参加費無料で行いましたが、第2回目からは4部屋・同時開催による経費増加への対応として、参加費2,000円を徴収することになりました。

参加者からの感想は、「少人数の、ワークショップ・本音で語り合い支えあうピアスーパービジョンは大変有意義であった」などの意見が寄せられています。

来年度も、対象者、内容、回数などを検討しながら引き続き開催を予定しています。

次に近畿支部（大前哲彦委員）と中国支部（糟谷由香委員）の報告を紹介いたします。

近畿支部で試行しているラーニングサポート講座は、6月、7月、8月の土曜日に6コマ開講したAコースに12人が受講され、10月、11月、12月の日曜日に6コマ開講するBコースには22人が応募され、2クラスに分けて実施することになっています。目的は、ベテランの音楽療法士とビギナーの出会いの場、受講生同士の仲間づくりの場になることとし、より良い音楽療法を実践できる力をつけることを掲げています。

プログラムは、事例の書き方から始め、ミーティング（受講生が事前に提出したミニレポート「自己紹介と悩み・質問」を基に討議）を行いました。2回目と3回目は事例検討（受講生が事前に提出した事例研究レポートを基に、実践上で遭遇する諸問題についてピアスーパービジョンを行う）とワークショップ（事例に対応した音楽療法技能の錬磨）を行いました。そして、3回目の終了後に受講生有志の企画で茶話会、及びまとめの会を行いました。受講生からは実践上の悩みを語り合う場に出会えた等と好評です。

中国支部における初回のラーニングサポート講座は、11月29日（日）に、中国地方各地から比較的アクセスの良い広島県広島市の会場にて開催されることが決定しました。中国支部では、初回の講座の募集対象は広く設定し、初心者からベテランまでが「基本に戻る」を大枠のテーマとして、自身の臨床を見つめ直す機会を提供したいと考えています。この初回の講座において中国支部会員のニーズを調査し、その結果を踏まえて、中国支部LSC運営委員会でその後のラーニングサポート講座の対象、内容、頻度などを検討していく予定にしています。

以上、関東・近畿・中国支部で試行的に行われているLSCの報告をいたしました。今後は試行担当支部以外からの視察なども検討されています。会員の皆様からのご意見お待ちしております。

北海道支部 — 近況 —

支部長 安藤 妙子

○第15回日本音楽療法学会学術大会無事終わる。

大会準備に追われた1年半でしたが次の開催地へバトンタッチしたばかりでまだ全体的な事は述べることはできませんが(9月16日現在)しかし、支部実行委員・支部会員の皆さま・本部事務局・ご講演頂いた各講師の諸先生、全国からご参加いただいた会員の皆様・その他、有形無形の御支援とご協力をえて何とか終えることが出来ましたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからは北海道支部をどうぞ宜しくお願いいたします。

○2015年度秋の支部講習会は下記の通り開催いたします。

北海道支部第28回講習会は、教育講演に久村正也先生を講師にお迎えします。その他、第15回学術大会業務のため講習会を受講できなかった方、他にも受講したい科目があったが重複して受講できなかった支部会員の為にビデオ研修会も併せて行います。

日時：2015年11月29日(日) 10:00～16:30

会場：札幌大谷大学 視聴覚室(1F)

内容：「交流分析入門：より良い対人交流のスキル」

講師：久村正也先生(札幌心身医療研究所所長)

問合せ先

支部事務局 〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1-1

札幌大谷大学関谷研究室

TEL:011-742-1796 Fax:011-742-1718

E-mail:jmt.hokkaido@gmail.com

(他支部会員の参加も歓迎いたします。研修会の詳細は、支部HPをご覧ください)



ポスター発表会場



閉会式



東北支部 — 近況 —

支部長 須佐 涼子

学会員の皆様には、本年度も東日本大震災への支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度は、東北支部の役員選挙が行なわれ、須佐涼子(支部長)、渡邊恵里(事務局長)、山内郁子(青森)、舛屋晶子(秋田)、阿部さつき(岩手)、平間史恵(山形)、高山仁(宮城)、佐藤敦子(福島)の各氏が選出されました。2016年度から新体制での運営です。

去る、7月25(土)～26日(日)、青森県弘前市にて第15回東北支部大会が開催されました。「音楽からの気づき～人として、今在り方を考える～」を大会テーマに青森会員による実行委員会にて準備が進められました。お二方の講師をお迎えいたしました。音楽療法の本質を常に追求、研究なさっておられる二俣泉氏(東邦音楽大学准教授)には、「音楽療法士とはどんな存在か」「美的体験と音楽療法」と題した基調講演と教育講演を、地元弘前大学からは増田貴人氏(弘前大学准教授)をお迎えいたし、発達障害領域からDCDに関する新しい側面からの研究について、興味深いご講義をいただきました。

東北支部では年一度、6県各持ち回りでの支部大会を開催いたしております。他支部会員の参加も歓迎いたしておりますので、是非東北へお越しください。

2016年9月、宮城県仙台市にて開催されます第16回日本音楽療法学会学術大会に向けて、高山仁大会長、須佐涼子実行委員長、渡邊恵里事務局長を三役に実行委員会を発足し、各委員会は順調に稼働いたしておりますことを、ここにご報告させていただきます。詳細につきましては、今後の学会ニュース等でお知らせ申し上げます。

関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

1. 関東支部大会・講習会（山梨大会）開催について

第14回日本音楽療法学会関東支部 講習会・地方大会（山梨）が2016年1月30日（土）～1月31日（日）の2日にわたって、山梨県立図書館において開催されます。「星と音楽とわたしと～奇跡の地球でつながっている～」を大会テーマに様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

詳細については、関東支部ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。また、関東支部会員のみならず他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

2. 講習会のお知らせ

関東支部では会員ニーズに応えるべく、関東支部大会・講習会以外にも様々な講習会を企画しております。①都県別講習会 ②支部研修講習会③ラーニングサポートセンター研修会（本部主催・支部委託）等々の開催を予定しております。支部以外の会員や一般の方も参加可能な研修もあります。

開催要項が変更になることもありますので、今後のニュースや支部ホームページでご確認ください。

2015年11月以後の研修予定

・都県別講習会（群馬県）

日時 2015年11月22日（日） 14：00～17：30
会場 公益財団法人脳血管研究所 てんぱくホール（群馬県伊勢崎市）
内容 精神科の音楽療法 精神医学～音楽療法～伴奏を視野に入れて
講師 馬場存氏（精神科医師 東邦音楽大学准教授）

・2015年度第2回支部研修講習会

日時 2015年11月8日（日）
会場 日本福祉教育専門学校高田校舎
内容 高齢者の集団音楽療法～事例の設定と臨床視点を探す～ 事例検討
講師 藤本禮子（関東支部支部長 NPO 法人音楽療法の会武蔵野（MMT）理事長）

・ラーニングサポートセンター研修（第4回、第5回）

日時 第4回 2015年12月13日（日） 10：00～16：30
第5回 2016年2月21日（日） 10：00～16：30
会場 日本福祉教育専門学校高田校舎
内容 事例検討、ワークショップ

いずれの案内も、日程や会場が変更になる場合がありますので、詳細は関東支部ホームページをご確認ください。
関東支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>



信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 丸山 敬子

信越・北陸支部では、6月27日（土）に第13回支部学術大会（大会テーマ「次世代の音楽療法士へのメッセージ」大会長 西巻靖和氏）を、長野市のホテルメトロポリタン長野において開催しました。参加者数は142名、（会員92名、学生13名、一般37名）でした

午前中は、研究発表とシンポジウムでした。研究発表では、発表内容について活発でアサーティブなディスカッションが行われました。またシンポジウムでは、日本音楽療法学会常任理事の加藤美知子先生をコメンテーターにお迎えし、支部各県で活躍する若手音楽療法士の活動紹介と未来への抱負が熱く語られました。

午後の市民公開講座では南慧照氏が「音楽と健康」～仏心は歌心～というテーマで、人に対する思いやりを歌と説法で伝えられました。さらに、会員講座では加藤美知子先生から「次世代の音楽療法士へのメッセージ」と題し、実践現場、教育研修現場などのお話から第15回世界音楽療法大会のお話まで幅広く伺いました。1日だけの開催でしたが、内容は非常に充実しておりました。

また、団体登録されている研究会は11団体で、今年度も活発な活動を展開しております。なお、役員の変更があり、今年度より支部長宮本啓子氏・副支部長前田登志枝氏、事務局長丸山の新体制がスタートしました。今後とも、よろしくおねがいします。

東海支部 — 近況 —

事務局長 菅田 文子

現在、東海支部では10月に行われる2年に一度の役員選挙の準備中です。東海支部は4つの県（愛知、岐阜、静岡、三重）からなっており、各県の会員数に応じて役員数を割り振っています。投票用紙の発送作業は、事務局のある岐阜県で行っています。選挙担当の役員の方たちには、遠いところから何時間もかけて作業に来ていただきました。先日は手伝いの学生たちのために大きなスイカも持ってきてくださり、作業の後にみんなでご馳走になりました。

また、来年3月6日には、静岡県の英和学院大学にて支部大会が開催されます。東海支部では各県持ち回りで支部大会を行っており、その県に在住する役員が実行委員として企画、運営を行い、当日は関係する学生たちが手伝っています。

来年発行予定の紀要も、論文を現在募集中です。紀要を作るのも、論文の募集、査読、印刷所との交渉などさまざまな仕事があります。特にこの時期活発に動いている委員会について述べましたが、この他日常的に何かしら仕事が生じる委員会もあり、役員の仕事とは、支部のために働く気構えがないとできない大変なものだと実感しております。



近畿支部 — 近況 —

事務局長 池田 智子

近畿支部では2016年3月19日（土）・20日（日）に大阪府大阪市にあります大阪成蹊大学にて、第14回近畿学術大会を開催します。この近畿学術大会の開催に向けて、大会実行委員会と支部講習会企画委員会により準備を進めています。今年度も近畿学術大会ではラウンドテーブルを開催します。ラウンドテーブルとは一つのテーマについて興味を持つ人々が小さな会場でじっくり語り合うという企画で、第10回近畿学術大会において初めて企画され、その後継続して実施されています。また、今回は会場である大阪成蹊大学で同日に美術教育学会が開催されます。そこで、協議により、双方の会員がお互いに関心のある大会プログラムに参加できることになりました。会場の大阪成蹊大学は、大阪梅田から電車で14分、駅から徒歩3分と言う便利な場所にあります。他支部の方も歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。詳細は近畿支部ホームページをご覧ください（<http://www.jmtak.com/>）。

2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の内容、近畿支部活動記録の他、上記ラウンドテーブルの報告記事も掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問い合わせください。



中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

中国支部は、第15回中国支部大会、第22回支部主催講習会を、6月27日、28日の両日、島根県松江市 松江テルサにおいて開催しました。

第1日目の講習会には、順天堂大学教授 林 明人先生、島根大学教授 肥後 功一先生、よりしま内科外科医院院長 頼島 敬先生をお迎えし、医学、心理学、福祉の分野からご講演をいただきました。

第2日目の支部大会は、「音楽療法を研究する」をテーマに講演、研究発表を企画し、広島大学教授 岩永 誠先生に研究の方法、研究発表の方法についてご講演いただきました。

開催に際しまして、ご協力を賜りました関係各位に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、中国支部はラーニングサポートセンターのモデル事業に参加することとし、第1回研修会の企画を進めております。支部ニュースレター、ホームページで広報し、参加者の募集をする予定です。

四国支部 — 近況 —

事務局長 板東 浩

四国支部大会は、毎年、四国四県において持ち回りでを行っています。昨年度は高知で開催され、NHKの連続ドラマ「あまちゃん」で広く知られる音楽家の大友良英先生による教育講演がありました。

2015年度（2014.4～2015.3）は、徳島が担当となり、下記のように開催いたします。従来、四国支部以外からの参加者も多く、この機会にご発表やご参加をお待ちしております。

なお、大会の詳細は、<http://www.jsmm-shikoku.jp/> にあり、10月上旬までに申込み方法など詳細を示します。2014年10月中旬から問合せや申込みを開始しますので、よろしくお願い申し上げます。

記

大会名：第11回四国支部大会（徳島）

期 日：平成28年（2016年）1月11日（月、祭日）10：00～16：00予定

場 所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館、徳島駅から徒歩7分）

内 容：教育講演を2題および一般演題募集（ポスター多数、口演若干数）

1）教育講演－1「人々に広く健康を」

原土井病院理事長、「新老人の会」福岡支部世話人代表・九州連合会長

原 寛（はら ひろし）先生

2）教育講演－2「人とともにある音楽～音楽療法ができること～」

東海大学非常勤講師・野花ひととおんがく研究舎

生野里花（いくの りか）先生

連絡先：問合せ、または申込みは、下記メールまでお願いします。

pianomed@bronze.ocn.ne.jp（担当・板東）

大会の詳細：<http://www.jsmm-shikoku.jp/>（四国支部のHP）



九州・沖縄支部 — 近況 —

事務局 西林 淑子

今年度、九州・沖縄支部においては認定者向けに継続して行っている「集団精神療法（グループ体験）講座」に加え、市江雅芳先生による「セラピストの感性を磨くエネルギーワーク」という講習会を開催した。

「グループ体験講座」は回を重ねる毎に、参加者の熱意や意識の高まりが感じられる。「初めはドキドキしていましたがだんだんクセになりそうです……」などの感想がよせられている。

また「エネルギーワーク」では、1月の支部大会での講演に続き“ぜひ実践講座を”との要望で開催、セラピストとして対象や環境のみならずあらゆる事象を敏感に感じ取る感性、また感性を磨くには自分自身に向き合う必要性などが教示された。

いずれの講習会も直接に音楽療法の技法や実践の講座ではないが、セラピストとしての在り方、また基本的な人間感や世界感を再考する機会になったと思われる。

※発行日の関係で文中各支部近況の催事が終了しているものがありますのでご了承ください。

学会事務局からのお知らせ

■ 「スーパービジョンの手引」発行のお知らせ

ニュース29号の巻頭言にもございましたスーパービジョン検討特別委員会編纂の「スーパービジョンの手引」が発行となりました。購入を希望される方は23ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。(A 4版60ページ、2015年8月発行)

■ 2015年度(補)資格試験を申請される方へ

2016年1月17日(日)に実施されます2015年度音楽療法士(補)資格試験の受験申請受付期間は、2015年11月16日(月)～11月30日(月)まで必着です。なお、試験の実施会場は東京会場(日本教育会館)1ヵ所のみです。(補)試験に関する詳細は、学会ニュース29号12ページをご確認ください。※一般コースから(補)資格試験を申請される方は、今年度より「証明書現物返却用封筒」への切手貼付けは不要となりました。

■ 2015年度資格審査を申請される方へ

2015年度資格審査の申請(面接試験)期間や申請方法等につきましては、10ページをご覧ください。

■ 2015年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2015年10月30日(金)までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2016年2月初旬に通知されます。

■ 「団体総合保障保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。加入を希望される方はパンフレット綴じこみの「保険申込FAX連絡票」にて記載の期日までに事務局まで加入依頼書を請求してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ない場合廃止となりますので奮ってご加入いただきますようお願いいたします。

なお、この保険についてのお問い合わせはTEL:044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページより各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択し、規則書ファイル(PDF)をダウンロードしてご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方(わかりやすい学会発表をするために)」が発行されています。購入を希望される方は23ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。(B 5版76ページ、2006年8月23日発行)

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は23ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。(一般の方に視聴していただくのに最適です。)

■ 映画「パーソナルソング」DVDのご購入について

先般公開され話題となりました音楽療法関連の表記映画のDVDが発売されています。学会割引価格で頒布しますので、購入希望の方は23ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。

頒布価格1枚3,000円(税込、送料込)。(定価4,104円、税込)

■ 学会誌バックナンバー、学術大会要旨集のご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、学術大会要旨集バックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 第15回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集の購入について

2015年9月に北海道札幌市でおこなわれました、第15回日本音楽療法学会学術大会の講習会資料集の購入を希望される方は、1,500円分の郵便為替（郵便局にて購入）を同封の上「第15回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集請求」として学会事務局までお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2014年度分未納の方はそのまま放置されますと2016年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口
払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会
口座番号：00120-9-657711

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料のお取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書一般コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定音楽療法士（補）問題解説集	2001～2014年度単年度版 ※希望年度を明記してください	各1,000円
	2001～2005年度、2006～2010年度5カ年分合冊版 ※希望年度を明記してください	各2,000円
規則書	一般コース	500円
	面接試験	500円
	資格更新／資格更新規則細則	500円
その他	抄録の書き方	1,000円
	DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性	1,000円
	DVD「パーソナルソング」	3,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員の場合は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません、ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時も同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名も合わせて明記してください。

※その他事務局への各種お届け方法の詳細については日本音楽療法学会ホームページをご覧ください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

● 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書など

手数料：500円

● 音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真および、現在お持ちの登録証明書および賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ変更の場合も、登録証明書・賞状ともに変更の場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、依頼される際にお名前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ お詫びと訂正

つぎの誤りがございましたので、謹んで訂正をさせていただきます。

* 第15回学術大会要旨集 P.103 抄録タイトル

（要旨集及び事前案内中のポスター発表一覧当該箇所も同様）

誤：養護老人ホームにおける音楽療法の認知・拡大について

正：特別養護老人ホームにおける音楽療法の認知・拡大について